

# 3rd Anniversary



つながりひろば 3周年記念誌

NPO法人  
つながりひろば

Nutrition Drink



栄養補給を、もっと自然に。

さわやかな甘さとつつきりとした口当たりの「アノカル® グリブ」は、  
思うように食事が進まないときの栄養補給をサポート。  
たんばく質やエネルギーを毎日の生活の中で手軽に摂取できます。

アノカル® グリブについて  
詳しくはこちら

Nestlé HealthScience  
ネスレ日本株式会社  
ネスレヘルスサイエンス カンパニー  
〒140-0002 東京都品川区東品川1-2-20  
https://www.nestlehealthscience.jp/

子どもたちの笑顔のために、  
続けてきたことがある、始めていくことがある。

小児がんは15歳未満の子どもに起こる悪性腫瘍の総称です。大人と比べて入院日数が長期にわたることが多く、自宅から離れた病院で闘病生活を送らなければならないこともあります。アララツクはこれまで、社員・アソシエイツ(販売代理店)がひとつになって、小児がんの子どもたちとそのご家族を支えるさまざまな活動を続けてきました。そして2019年から、My Special Aflac Duckを通じて新しい活動を始めています。

2019~



小児がんの子どもたちの「今」の気持ちに寄り添う。  
My Special Aflac Duck

病院での長い入院生活、My Special Aflac Duckは、治療に取り組む子どもたちの心に寄り添うために、米国で医療関係者、ロボット開発企業とアララツクが共同開発したアヒル型ロボットです。2019年から日本の小児がん診療病院等への寄贈を進めています。

2006~



がんと闘うご家族の「日々」をサポートする。  
アララツクペパレソツハラス

小児がんなどの難病の子どもたちと、そのご家族をサポートする総合支援センター。遠隔地から治療に訪れる子どもたちやご家族の宿泊、専門カウンセラーによる相談支援などを行っています。

2001~



小児がんを経験した子どもたちや、親をがんで亡くした子どもたちの「明日」を応援する。  
アララツク小児がん経験者・がん遺児奨学金制度

高校生を対象とした返還不要の奨学金制度。これまでに支給した奨学生は、累計2,800人を超えています。

1995~



アララツクの

小児がん支援活動

Aflac

「生きる」を創る。

...

もくじ

- 3周年を迎えて… …………… 2
- 「つながりひろば」とは …………… 3
- 理事長の思い …………… 4
- がんと向き合う …………… 5
- 苦しい時の神頼み …………… 6
- 頑張ったこと …………… 7
- イベントあらかると …………… 8
- コロナ禍オンラインイベント …………… 9
- 「つながりひろば」3年間の歩み ……………10
- みなさんの声 ……………11
- マラソン大会の思い出 ……………15
- 商品紹介
- 寄附・入会のおねがい ……………16
- 今後の目標 ……………17

### 3周年を迎えて…

がん患者が気軽に訪問できて、困りごとや悩みを自由に話すことができる、そんな「場」作りを目指してスタートし3年が経過しました。

この間、経年的に認知度が向上し訪問者も増加、相談件数も増加傾向にありました。また各種イベントを開催し、がん患者と活気ある「つながりひろば」を作ってきました。

しかし、これから・・・という時「新型コロナウイルス感染拡大」という未曾有の状況になり、活動自粛を余儀なくされるに至りました。

そして、自分たちにできることを模索しながらの1年が過ぎました。現在、感染対策を十分に実施した上での個別相談に加え、オンラインでのセミナーや映像の配信を行っています。

この3年余りの期間に多くの患者・家族のみなさんと出会い、想起すると学びあり、悲しみあり、そして楽しさ喜びもたくさんありました。

数々の感動・学びをいただき心より感謝しております。

これからは、アフターコロナの時代に向けて、「つながりひろば」の存在意義を再確認し今後の活動につなげていこうと考えています。



「つながりひろば」は、がんと向き合う人たちが「いつでも」「だれでも」「自由に」訪れることができる場所として、2017年11月に特定非営利活動法人つながりひろばとして設立されました。

設立の目的は、がんと向き合う人たちの支援をすることです。

がんという病気は、国民の2人に1人が生涯のうちに1度は診断されると言われる、私たちにとって身近な病気になりました。しかし、まだまだ「死」をイメージさせる病気でもあります。

先日、国立がん研究センターから、がん10年生存率が全がん平均で58.3%と発表されました。がんの部位やステージなどによって数値は異なりますが、前回調査よりも1.1%上昇しています。

がんと診断されたとき、みなさんはどのように受け止め、対処しますか。たくさんの不安やモヤモヤ、悩みや困りごとを抱えることでしょう。

そんな時、私たちがみなさんを支援します。そして、少しでも不安や困りごとを軽減し治療に向き合えるようにサポートします。

今、がん患者の生存率が高くなっているということは、がんと向き合う期間が長くなるということです。たくさんの困りごとがあっても当然なのです。がんと診断されて、仕事を離れる人が以前は80%と言われていました。しかし現在は、就業とがん治療を並行している患者さんも多くなっています。社会が、がんと向き合う人たちを支援する環境を整える時代になりました。

「明るく・元気に・前向きに」がんという病気と一緒に向き合っていきましょう。



3年を振り返って



## ～理事長の思い～

笹田 友恵

がんと向き合う患者さんやご家族の悩みや不安を、少しでも軽減できればと思ってこの活動をスタートしました。

当初は、大阪国際がんセンターの1階に間借りをしていました。「ウナギの寝床」状態で、空気が薄かったことを記憶しています。種々の活動においても、がんセンターの会議室を借用し実施しました。「つながって語ろう会」「クリスマスリース作り」「タッチングで癒し」など、参加してくださる患者さんも回を重ねることで増えていきました。

2019年3月「ウナギの寝床」から「患者交流棟2階」に居を移し、「つながりひろば」の本格的な活動を開始しました。

大阪国際がんセンターから引き継いだ「元気マラソンチーム」は、大阪マラソンへの選手参加から3度目の参加時にはチャリティー寄附先団体としてエントリーできました。

2018年の講演会では「自分らしくがんと向き合う」をテーマに宮川花子さんをお招きし、今話題のグランキューブ大阪で開催しました。映像作家の保山耕一さん、順天堂大学名誉教授の樋野興夫さんなどにもご講演いただきました。

ひとつひとつ・・・思い返せば、そこにはがんと向き合う患者さんというより、病気と向き合う人々の笑顔がたくさんありました。

悩みや不安などのご相談を受けることは、想像以上に大変なことではあります。しかしその後「ここで話して良かった」「ここに来て良かった」と笑顔で部屋を後にされる患者さんは何物にも代えることができない、私のパワーです。

たくさんの出会い、そしてお別れもありました。みなさんにいただいた笑顔や言葉、そして悲しみや優しさ、決して忘れません。



ウォーキングセミナー



## ～がんと向き合う～

現在、日本人の2人に1人は一生のうちに何らかのがんにかかると言われていています。がんはすべての人にとって身近な病気なのです。

以前がんは怖い病気、死をイメージする病気でした。しかし、先日発表されたがんの10年生存率を全体的にみるとがんは「死」をイメージするのではなく、「共生・共存」する病気になってきたように思います。

反面、病気と向き合う時間は長くなり、転移や再発に対する不安と向き合い、社会的にも経済的にも多くの悩みを抱えることとなります。

医療の進歩は日進月歩で、今後も更なるがん治療の発展が見いだせる段階に入っていくと推察されます。

治療をしながらの就労は、AYA世代のがん発症率が増加していることも背景に、社会の中で保障されるようになってきました。

がんと向き合う患者さんたちがより快適な社会環境の中で病気と対峙し、生活できるように今後も支援し続けたいと考えています。





## ～苦しい時の神頼み～

「苦しい時の神頼み」とは、「日頃は神も仏も拝んだことのない信心のない者が、苦しい時や困った時、災害にあったりした時にだけ、神仏に頼って助けを求めること」とあります。コロナ禍において自分たちの力では、どんな打開策も見出すことができず「早くこの状況が治まって、つながりひろばの活動が行えるようになる！」ことを祈念して、信貴山の朝護孫子寺に詣でました。神社仏閣はこころが清められ、新たな発見があり新たな自分探しもできます。

そこで、がんと向き合う人たちと共に、自分たちができることをもう一度考えてみました。

そんな時「話したい」「寂しいです」「みんなに会いたい」このような連絡が患者さんたちから入るようになりました。会えなくても話をすることはできますし、笑顔を見ることもできます。

そこで、オンラインでみんながつながってのイベントをすることになりました。「1か月に1回の楽しみです」今ではこんな言葉も聞けるようになりました。

しかし、人に向き合って、しっかり話を聞き、表情を読む、相手の気持ちに寄り添うことは、リモートではカバーしきれない所がたくさんあります。

やはり、このコロナ禍が治まってワイワイ、がやがや・・・そんな素敵な時間が戻ってくることを願ってやみません。



## ～頑張ったこと～

がん患者さんが「いつでも」「だれでも」「自由に」訪れることができる「場」を作ること、それを目指してやってきました。

あしたまたこの場所で会いましょうね・・・人として生きていくうえで「自分の居場所」があることはとても大切なことです。

がんという病気と向き合っていることを、人には言えないと話される患者さんがたくさんおられます。自分自身の変化について家族や友だち、同僚に言えない、その理由は「心配をかけたくない」「自分の弱みを見せたくない」「そんな目で見られるのは嫌」などそれぞれですが、そんな気持ちを自身の中に持ち続けていることは、精神的にも身体的にも負担になります。

気持ちを解放して、自分らしく病気と向き合うことができるように、患者さんを支援してきました。病気や治療に関する相談や情報提供、健康回復を促進するためのマラソンやウォーキング、イベントとして深呼吸ヨガや健康体操、癒しの提供としてタッチケア、文化的な取り組みでは、絵はがき教室やハーバリウム作成、折花などです。

これらの機会の大きな目的は人同士の交流、仲間作り、きっかけ作りです。

がんと向き合いながらマラソンをはじめフルマラソンを完走した人、患者同士のお茶会や食事会、誘い合って旅行に行く人たちもいます。

「同じ病気を体験している人」は、お互いにとって特別な存在であるようです。病気をきっかけに10年間自宅から出ることができなかった人もいました。しかし、ある場所で「つながりひろば」と出会い、徐々に外出も可能になりました。

きっかけを作って、仲間ができて、話ができる。これはとても心強いことです。「明るく・元気に・前向きに」この言葉を、がんと向き合う上で心にとめておいて欲しい言葉として送っています。

この3年間で複数の人を見送ることがありました。振り返ると、その人たちはいつも笑っておられました。寂しいことではありますが、悲しくはありません。たくさんの思い出を「つながりひろば」に下さったからです。ありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

～イベントあらかると～



つながってあるこう会



ゴムを使った健康運動



あべのハルカス縁活コラボ企画

楽しいイベント

「つながりひろば」の事業は大きく分けて「相談」「健康回復支援」「もの作り」「セミナー・講演会」などで、イベント活動が中心です。

患者さんからの「こんなことがしたい」「〇〇を作りたい」などの要望を聴きながら、活動の輪を拡大してきました。多い時には17カテゴリーで延べ1200人の参加がありました。

患者同士の交流会「つながって語ろう会」「クリスマス会」、患者だけではなくその家族の方も対象にしたアロマタッチセラピー「タッチングで癒し」を実施しました。もの作りイベントでは「折花」「絵はがき教室」「ハーバリウム」「クリスマスリース」などを作成しました。健康回復支援活動として「元気マラソン」「つながりウォーキング」「深呼吸ヨガ」「健康体操」を取り入れ、患者だからではなく、人として健康な日々を送るためのメニューを取り入れました。また、地域の人を巻き込み、200人規模で「ジョギングフェスティバル」を開催しました。「セミナー・講演会」では、著名人を招聘した講演会、映像作家の方の作品上映会を行うと共に「健康セミナー」や「リンパ浮腫セミナー」など、情報提供に努めました。

がん情報発信の市民啓発活動としては、あべのハルカスで『縁活「がんと言われて困らないために」』を継続的に開催しました。



～コロナ禍オンラインイベント～

緊急事態宣言中、対面によるセミナーやイベントを開催することが難しくなりました。

「つながりひろば」でも、オンラインによるイベントに挑戦してみました。

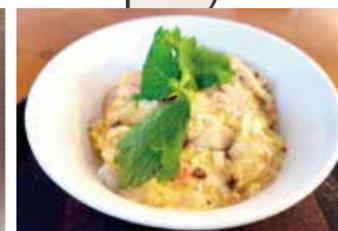
さまざまな人の力を借りて、料理、スキンケア、ヨガのYouTube動画配信など、工夫をこらしてみなさんに参加頂けるように努力いたしました。

どんな状況でもみなさんとのつながりを大切に、自分たちが出来ることを模索しながら新しい事に挑戦していきます。



がんと健康シリーズ

つながりひろば発、オンラインで健康メニューの紹介を発信。事前に材料を揃えて実際に料理を作り、資料をまとめます。理事長自らオンラインで料理の手順を紹介し、楽しくクッキングレッスンを進めます！



毎回、専門家の指導を元に体も心も元気になる美味しいヘルシーなメニューをご披露！

がんと健康シリーズメニュー例



そばのとろろサラダ  
ワンタンの皮のツルツとサラダ



さんまと豆腐のあっさり煮込み  
納豆鍋・春菊おにぎり



ポトフ・和風カレーにゅう麺



レモンでさっぱりかぼちゃご飯



～「つながりひろば」3年間の歩み～

2017年

- 10月 市民啓発活動「縁活」参加
- 11月1日 NPO 法人つながりひろば開設
- 12月 第7回大阪マラソン参加  
元気マラソンチームとして初参加  
よろず相談会（第1回）  
タッチングで癒し（第1回）



2018年

- 1月 フラワーリース作り
- 2月～つながって語ろう会（第1回）
- 6月 映像上映会（保山耕一氏）  
「がんと栄養」セミナー（第1回）
- 10月 つながりシンポジウム  
「自分らしくがんと向き合う」  
※宮川花子氏講演  
つながって歩こう会（第1回）
- 11月 ジョギングフェスティバル2018  
第8回大阪マラソン参加



2019年

- 2月～7月 安全・安心ランニングセミナー
- 3月 大阪国際がんセンター  
患者交流棟2階で事務所オープン
- 5月 「自分らしくがんと向き合う」  
※保山耕一氏作品上映会  
健康セミナー
- 6月～ウォーキングセミナー  
深呼吸ヨガ
- 7月 折花を楽しもう
- 10月～ゴムを使って健康体操  
ジョギングフェスティバル2019
- 12月 第9回大阪マラソンチャリティー寄附先で参加  
「がんと栄養」薬膳カレーを一緒に！  
「笑いのがんライフ」第1回



2020年

- 2月 「がんと生きる言葉の処方箋」上映会  
※樋野興夫氏講演
- 5月～オンライン「つながって語ろう会」
- 6月 YouTube 撮影
- 9月～オンライン「がんと栄養」



「つながりひろば」にいつも笹田理事長がいる。そして話を聞いてくれる。

大切な出会いを経て成し遂げた目標がありました。たくさんの仲間と一緒に。あの時、待合の新聞が目につかなかっ  
たら…。この出会いに感謝している人たちはたくさんいます。  
メンバーのみなさんの声を聞いてみましょう。



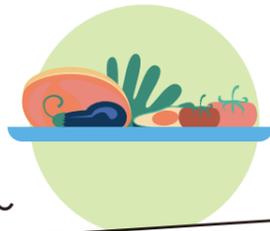
みなさんの声

山田 郁子さん

～つながりひろばと私～

突然のがん宣告！  
それにより『膵臓がん』やなんて。。。会社の健康診  
断の結果からあれよあれよと検査を受けた結果。。。53歳の  
夏のことでした。  
それまでの私は48歳から始めたんだけど、毎週末に多い  
時は20キロぐらい走れるぐらい元気だったのに。。。  
大阪国際がんセンターに入院することになり、3か月ほど経っ  
た時に1F待合でふと目についた新聞が私とつながりひろばと  
の出会いです。  
「元気マラソンチーム？マラソンチームがあるんや。。。」「私も入  
れてもらいたい!」と、無我夢中で当時のキャプテンだった形  
成外科の栗田先生のFacebookページを探し当て、突然連  
絡したことが昨日のことに懐かしいです。  
それから主治医に許可をもらって、ウォーキングから参加させ  
てもらいました。  
その年の年末に手術を受け、翌年の12月には元気マラソ  
ンチームの仲間と「奈良マラソン10km」を無事完走できま  
した。  
その後、再発を乗り越えて、今まだ治療の続く日々ではあ  
りますが、ちょっとしんどくなって話を聞いてもらいたいとき「つ  
ながりひろば」はいつでも私を温かく迎えてくれます。がんの  
専門知識や看護経験の豊富な笹田理事長は私にとってな  
くてはならない存在です。これからもよろしくお願いします!!





～つながりひろばと私～

私が初めてつながりひろばを訪ねてから2年位でしょうか。最初は興味のあるイベントに参加出来たという気持ちでした。深呼吸ヨガに参加させて貰った後、その後ウォーキングで大阪城公園に行き、豆知識を聞きながら楽しく歩いて、セルフマッサージ、漢方の話と次々と参加させて貰った。イベント終わりのティータイムで楽しく過ごし、すっかり居心地の良い場所となりました。リンパ浮腫の時に参加することができず、下肢のリンパ浮腫の相談先がわからず話をしていたら、その場で連絡を取って貰った。「一度見てもらったら安心でしょう」と紹介して貰った。私の数年来の悩みの1つでしたが、実際にみて貰った安心感がありました。

コロナ禍の中、昨年の5月初旬に「つながりお茶会をZOOMでします。」と誘っていただきました。直接会って話も出来ない状況の中、オンラインで気軽に会話が出来るとはホッとすると同時に。私にとっては新しい経験で、何か所かオンラインに誘って貰った。遠方で参加を諦めていた場所にオンラインに参加することができています。9月以降定期的開催されているZOOMに参加させて貰っています。毎回色々な方が参加されて盛りだくさんになってきているように思います。

コロナが落ち着き、以前のようにつながりひろばに集まって過ごせるようになりますことを切に願っています。

そして、2012年にステージIV、余命半年からスタートした癌との生活ですが、あの頃にはつながりひろばがあれば良かったのと思った。こうやって参加させて貰ったことに、そして関わって下さる方々に感謝しています。

～がん患者の本音のはなし～

いろんな偶然の積み重ねにより「つながりひろば」と出会い、そのお陰で、妻と笹田さんとか知り合う事に関与出来ました。時系列に並べたらこんな感じ。みぞおちに異常を感じ、家系の病歴から心臓である可能性を訴えて検査をした。この時に少しでも心臓に異常があったら、真因からズレた変な事になっていくかも。その後、十二指腸付近に異常が見つかった。この時に市民病院で大腸ポリプを除去した経験が無かったら、紹介された病院に行っていたかも。「なったら終わり」と考える一番怖い病名を告げられた後に「希望する治療先があるか?」と問われ、絶望する間もなくその晩にネットでガン検索。この時に名称が大阪府立成人病センターのままだったら、選ばなかったかも。大阪国際がんセンターを希望した時に、市民病院の先生が肝胆膵内科の先生を知らなかったら、スムーズに進まなかったかも。その後の残念な再発（書きたくない言葉だが...）が無かったら、つながりひろばに顔を出すことはなかった。（ココは「かも」じゃない）いずれにしろ（菅首相がよく使う言い回し）、勝手に一般生存率と乖離した領域へ向かう事に決めています。なので、引き続きよろしくをお願いします。



## みなさんの声

加藤 真美さん

### ～つながりひろば三周年によせて～

2018年1月、つながりひろばが母体となっている『元気マラソン』チームへの入会希望のため、私は初めてつながりひろばを訪れました。前年の大阪マラソンでの見事なチームワークやランナーの中にがん患者さんが含まれていたことをテレビの情報番組で知り、そんな素敵なおチームに私も参加したいと思ったことがきっかけです。

入会も叶い、その年の大阪マラソンではチームメンバーのサポートのおかげで抗がん剤治療中にも関わらず、初マラソンでしたが完走することが出来ました。そして2019年にはつながりひろばのチャリティランナーとして2度目の大阪マラソン完走を果たすことが出来ました。

大会前は抗がん剤治療の影響で体調がすぐれず、練習もろくに出来ない日々が続いていました。それでもなんとか仲間と一緒にゴール出来た瞬間、自分の想像を遥かに超える感動に包まれ涙が溢れました。

「病気になってよかった」とは思いませんが、病気になったから出会えた人や経験があります。つながりひろばに出会えたこと、そして『元気マラソン』に出会えたことで私の人生は大きく変わりました。マラソンやイベントを通じて出会えた人や経験は私にとって宝物となりました。

そんな前向きな気持ちにさせてくれたつながりひろばに心から感謝しています。これからもみんなの心のよりどころとして、ますます発展されることをお祈り申し上げます。三周年おめでとうございます！



## ～マラソン大会の思い出～



### 森 博幸さん

2018年11月4日、僕が前向きになれた日です。『ジョギングフェスティバル』の開催日。そこには「今を一生懸命に生きる人達」のエネルギーが溢れていました。100km マラソンにチャレンジ、抗がん剤投与の合間に大阪マラソンへ参加、3日間でフルマラソン2大会に参加など、患者とは思えない前向きな人達の輝く姿がありました。迷わず『元気マラソンチーム』への入会をお願いしました。

チームの仲間との楽しい時間は、患者である事を忘れて、前に進み始めた気持ちを後押ししてくれます。一人じゃない事で心強くなれます。今でも癌になって良かったとは思えないけど、不幸ではありません。出来ない事も増えて、失ったものや諦めもありました。でも、家族や仲間を支えられて、いきいきと生きている事に感謝する中で、強がりや捻くれ者の僕が、だんだんと素直に甘えられるようになりました。結果を気にしなくなり、いろんな事へのチャレンジ機会が増えて、充実した時間が次々と生まれています。

一人で走っているコロナ禍の今も『元気マラソンチーム』が大きな心の支えです。また一緒に走りましょう。お喋りしましょう。笑いましょう。その日が早く訪れる事を待ち望んでいます。



～商品紹介～

「つながりひろば」では、さまざまなグッズを紹介しています。  
 マスコットキャラクターの「ひろくま」グッズをはじめ、安全安心の賞品にこだわって化粧品、ウィッグ、衣類などアピランス関連商品を展示、紹介しています。  
 「つながりひろば」にお立ち寄りの際は、ぜひ手にとって御覧ください。

■ひろくまシリーズグッズ



ひろくまシリーズの商品。あなたのそばに置いて下さい

■各社ウィッグ



初めての方も心配なし！安心してスタイリングできるウィッグを試してみませんか？

■アウロラフレア全身シャンプー



治療中に選ぶなら頭皮とお肌のケアシャンプー。治療中のシャンプーを選ぶならアウロラフレア。

■ヴィオクリームC



アトピー性皮膚炎の方、乾燥による激しいかゆみに悩んでいる方に特におススメ。

■Nestle (ネスレ) 栄養補助食品



ネスレの栄養補助食品。アイソカルゼリーは、凍らせてアイスにするとデザートとしてお召し上がりになれます。

■フェース化粧品



美しい素肌への土台をつくるフェースのコスメ。クリニックが推奨する安心して使える商品です。

～今後の目標～



— 未来に向けて —

がんを取り巻く環境はどのように変化しているのでしょうか。  
 医療の進化により、多くの治療法が開発され、がんとの向き合い方も大きく変化していくのでしょうか。ある治療が自身に効果があるのか、どのような薬が効果的なのか、そして様々な抗がん剤の開発等、驚くような治療法も開発されてきています。今の標準治療とは全く異なった方法に変化している可能性もありますね。  
 さて、「つながりひろば」の5年後、10年後はどんな団体になっているのか。がんと向き合う人たちの支援を行うこと、「いつでも」「だれでも」「自由に」訪れる場所であることに変わりはありません。がんと向き合う人たちの悩みや不安は、社会の変化や医療を取り巻く環境が変わっても続くものだと推察されます。  
 「つながりひろば」は、がんと向き合う人たちにとって安心できる居場所であり続けたいと思います。



寄附・入会のおねがい



寄附によるご支援

がんと向きあう人たちの生きる希望につながるご支援をよろしくおねがいします。

入会によるご支援

賛助会員として継続的なご支援をおねがいします。  
 会費(1口あたり)  
 ■個人:1万円/年間 ■企業・団体:5万円/年間  
 ■特別賛助会員:10万円/年間

振込先

●りそな銀行 大手支店 普通口座 91151  
 ●郵便振替 00950-1-237161 ゆうちょ銀行 099店 当座 237161  
 口座名義(共通) トクヒツナガリヒロバ





総手植 人毛ミックス ウィッグ ¥14,800(税込)~



私たちは医療用ウィッグ、ウィッグ、ヘアスタイルを通じて、1人でも多くの方に、感動を提供します。

フリーダイヤル ヨヤク サンキューマル  
ご相談は 通話無料 0120-489-390 【受付時間10:30-19:30】



edu.style京橋・京阪モール店  
京橋・京阪モール2F



edu.京橋本店 JR京橋駅より1分

mate oneメイトワン  
JR東西線 大阪天満宮駅の番出口より徒歩1分

edu.心斎橋店 地下鉄心斎橋駅より3分  
〈完全予約制〉

edu.〈滝井〉関西医大総合医療センター店

edu.〈枚方〉関西医科大学附属病院店



# 公益財団法人 大阪対がん協会の事業

## がんの知識と予防等の普及啓発

講演会・イベントの開催

大阪対がん協会セミナー、成人病公開講座

がん情報の提供・検診の奨励

進めがん防衛隊、春・秋のがん検診のご案内



## 学術研究への助成

がん研究助成奨励金事業

若手研究者への助成、令和2年度に第62回の助成を行い、のべ1,747人が受賞



当協会の活動は、  
みなさまのご支援で成り立っています



▲冊子配布中!



公益財団法人大阪対がん協会

〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69  
大阪国際がんセンター 患者交流棟 2F  
TEL: 06-7777-3565 FAX: 06-6585-0353



541-8567 大阪市中央区大手前3丁目1-69  
大阪国際がんセンター患者交流棟2階  
TEL 06-4301-4990 FAX 06-4301-4991  
Web <https://tsunagari.osaka.jp/>

つながりひろば3周年記念誌 制作: 有限会社 AI クリエイト  
発刊日: 2021年6月30日

お問い合わせ **TEL 06-4301-4990**  
E-mail [tsunagari.2017@gmail.com](mailto:tsunagari.2017@gmail.com)

# LAMÉLABO ラメラボ

## なめらか肌を、再び。

乾燥肌・敏感肌の方に、こだわりの“7つの無添加”

合成界面活性剤\*1・パラベン・フェノキシエタノール・エタノール\*2・鉱物油・色素・香料無配合



\*3 世界初

\*4 お肌に入る  
生コラーゲン\*5

肌結果を約束する  
**FAITH**  
GROUP

商品情報はこちら <https://www.lamelabo.com/>

商品をご購入希望の方はこちらから会員登録

製造販売元: 株式会社 フェース  
〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-8 FAITHビル

お客様相談窓口 ☎ 0120-660-315

◆会員登録はこちら



◆PCの方はこちらから登録

<https://shop-faith.jp/shop/aj3POWwAp>

\*1 親水基・親油基とも石油起源の化合物から合成界面活性剤  
\*2 エキス抽出用エタノールを除く  
\*3 世界で初めての化粧品基剤を使用  
(2015年11月株式会社ペンテック統計研究所調べ)  
\*4 角層まで \*5 うるおい成分: 水溶性コラーゲン